

事業概要シート

施策 2101 効率的な行政運営の推進

《》の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計
 ※ 補正予算要求時は今回の補正予算額を除く。
 ※ 次年度予算要求時は次年度繰越額を除く。

事業名	第5次大村市総合計画策定事業	新規	予算額	5,884 千円
				《 0 》千円
事業期間	令和2年度 ~ 令和2年度	財源内訳	国庫支出金	0 千円
根拠法令要綱等	大村市総合計画に関する規則		県支出金	0 千円
			地方債	0 千円
			その他	0 千円
			一般財源	5,884 千円

【事業の目的・概要・対象】

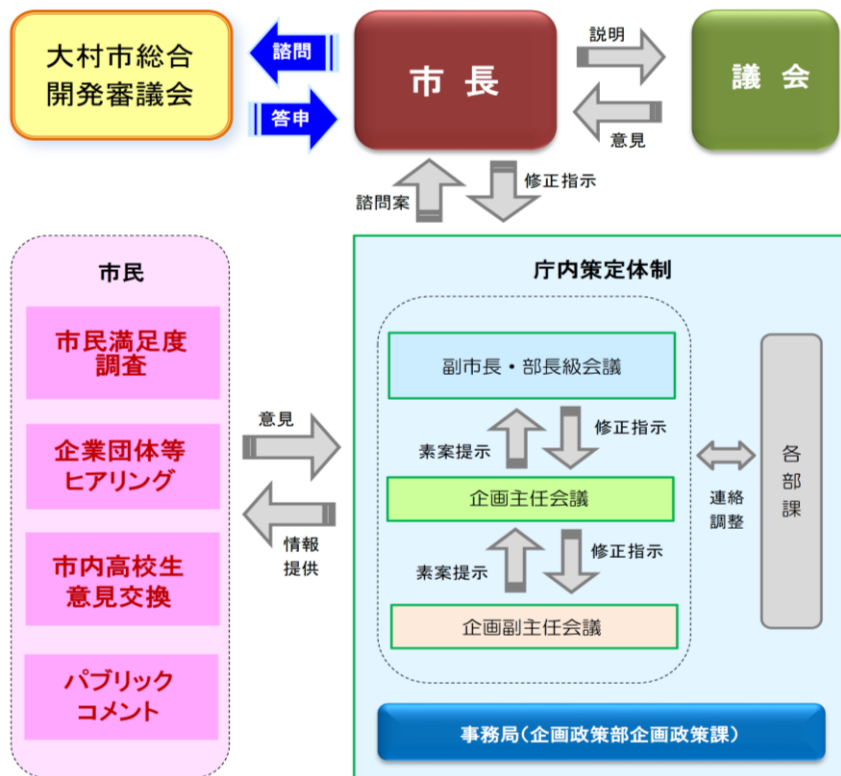
(目的)

現行の前期基本計画が令和2年度で、5年間の計画期間を迎えることから、この5年間の取組の成果検証や、社会情勢の変化等を踏まえたうえで、より将来像の実現に資する行政運営を行っていくため、後期基本計画を策定する。

(概要)

より将来像の実現に資する行政運営を行っていくために、本市の現状・課題を解決に結び付ける実効性がある後期基本計画を策定し、当該計画に沿って施策・事業を展開していく必要がある。そのためには、限られた時間の中で、効率的な策定作業を行い、計画を策定する必要があるため、策定支援業務の一部を委託するとともに、完成した後期基本計画については、印刷製本のうえ、庁内各所及び関係機関等に周知・配布する。

後期基本計画策定体制図



【背景】

平成28年度から、第5次大村市総合計画（基本構想10年・前期基本計画5年）をまちづくりの基本指針として市政運営を実施している。基本構想は令和7年度までの10年間であるが、現行の前期基本計画は、令和2年度で5年間の計画期間を迎えることから、令和2年度中に、令和3年度からの後期基本計画を策定する必要がある。

担当課	企画政策課	課長	石山 光昭
担当者	町田 康佑	問合せ先	0957-53-4111（内線229）

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	企画副主任・主任会議開催回数	計画値 回	—	—	18	—	—
②	副市長・部長級会議開催回数	計画値 回	—	—	12	—	—

【成果指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	後期基本計画冊子配布部数	計画値 冊	—	—	300	—	—
②	後期基本計画概要版配布部数	計画値 部	—	—	35,000	—	—

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計
事業費	0	0	0	5,884	0	0	5,884
国庫支出金				0			0
県支出金				0			0
地方債				0			0
その他				0			0
一般財源				5,884			5,884
人件費		0	0	12,348	0	0	12,348
職員(人)				1.50人			1.50人
時間外勤務(h)				720h			720h
嘱託員(人)				0.00人			0.00人
フルコスト	0	0	0	18,232	0	0	18,232

妥当性 (市の関与)	本市の事業で本市の総合計画策定業務を実施することは妥当である。
有効性 (施策貢献度)	前期基本計画の成果や社会情勢の変化などを考慮したうえで、後期基本計画を策定することにより、本市の施策を有効なものとする。
効率性 (コスト)	過度な時間外勤務とならないよう、努めて業務を行うことが必要である。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり